

2021 9/28

No.2147

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



絵本のキャラクターなど26作品が田んぼ沿いに並んだ海老名市の「中新田かかしまつり」。感染防止のため規模を縮小し、2年ぶりに開かれた。



視点点描	3
民意示した横浜市長選	
デモクラシーの現場から	4
不確実性増す政局	
経 済	6
「はじめの一步」(下) = DX コロナが加速、課題も山積	
政治双眼鏡	10
一層進む派閥の空洞化 エネルギー低下の自民党総裁選	
風人来人	11
武士顔の後退	
くらし2021	12
LGBT当事者 介護・福祉を起業	
企業最前線	14
コロナ禍、ITでフレイル予防 スマホアプリが運動習慣を改善	
アジアの風	16
「中国脅威論」を翼賛世論にした菅政権	
NNAアジア経済レポート	17
神奈川景気データファイル	18
神奈川景気データファイル	19

【お知らせ】 神奈川政経懇話会ではホームページと会報「政経かながわ」に会員コーナーを設け、新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045 (226) 2121。

視点 点描



民意示した横浜市長選

大都市の地方選挙で投票率が低
迷しがちな傾向は、ことに最近の
横浜市長選で顕著だった。200

9年8月の選挙だけは68・76%と
いう高い投票率だったが、背景に
は現職市長だった中田宏氏の辞任
を受け、迫っていた衆院選と同日
で実施された事情がある。この例
外を除けば、ここ40年間の投票率
は、おおむね30%台後半で推移し

争が、有権者の関心を高める効果
をもたらしたのは間違いない。

振り返ってみても、「劇場型」で
はなかつた選挙戦だが、市民が「有
権者」であることを体感できる環
境は整っていたと思う。立候補者
は過去最多の8人。その顔ぶれも
自治体首長経験者が計3人、国会
議員経験者も計4人と、かなり豪
華だ。I Rの是非のみならず、中
学校給食の在り方、新型コロナウ
イルス対策、林市政が構想を描い
た新劇場など、選挙の争点もはっ
きりして分かりやすかった。

てSNSで発信した。当日の中間
投票率も速報を続け、選挙ムード
が伝わるようにしてみた。

結果はI R誘致反対を掲げた新
人の山中竹春氏が、現職の林文字
氏らを破って初当選。なかでも衆
院議員を辞して選挙戦に臨んだ小
此木八郎・前国家公安委員長は、
敗れて政界引退を表明し、結果と
して小此木氏を支援した菅義偉首
相の退陣表明へとつながってい
く。中央にも影響を及ぼす発火点
ともなった選挙戦だった。

こうした関心の盛り上がりに応
えられるようなニュース発信を、
ウェブサイト「カナロコ」でも今
回、有権者の行動原理を念頭に置
いて試行した。投票所に向かう際
に有権者の参考としてもらえるよ
う、既に公開していた候補者たち
の横顔や、訴える政策を一覧でき
る記事を、投票日の朝にあらため

とはいえ、横浜市長選はあくま
で横浜市民のためのものだ。この
結果を選んだ有権者には今後4年
間、山中市政を注視し続ける責務
がある。せつかく高まった地方
自治への関心である。「投票率30
%台」の時代に戻るのには、あまり
にもつたいない。

（神奈川新聞社編成部長・

デジタル編集担当 高橋 融生）